

# 利賀っ子だより



R5. 1. 18

あっという間に1月も中旬になりました。どの教室にも3学期の目当てや新しく決めた係活動についての掲示物があり、新学期が順調に動き出していることを感じます。

## ○ わぁ 宝石みたい！

5年生は、理科の時間の「ものの溶け方」についての学習で、ミョウバンを溶かした水溶液の温度が下がると結晶ができていく過程を観察しました。そのときにできた結晶について、朝の会で全校のみんなに紹介していました。

低・中学年にとっては、「結晶」「ミョウバン」などの言葉は難しかったようですが、実物の神秘的な美しさは興味がひかれるようで「宝石みたい」「作ってみたい」と口々に感想を漏らしながら、結晶を見つめていました。

「薬品だから、結晶を触った手は必ず洗って」と声をかける5年生や「ゆっくり温度を下げると大きい結晶ができる」「ほこりが入るとうまく結晶ができない」などと昨年の観察結果を話す6年生もいて、結晶についてのミニ講座が開かれているようでした。全校が一緒に活動することの多い利賀小学校では、学年相当以上のいろいろな知識を身に付ける機会がたくさんあります。



【宝石みたい！触らせて】

## ○ 秘密会議



【楽しんでもらうことを考えよう】

高学年の学級活動の時間、6年生は卒業アルバムの作成、5年生は「卒業生を送る会」と学年に分かれて活動をしていました。

5年生は「秘密会議」と称して、6年生には、見えないようにと階下の教室で会の内容について話し合っていました。話を進める役、黒板に意見を書き出していく役等を分担し、担任の手を借りることなく話を進めていました。「秘密会議」という位置付けが子供たちのやる気を高めている要因の一つだと思いました。この機会に5年生がリーダーとしての力をさらに高めていくよう支援していきたいと思います。

## ○ 書初作品展

書初作品展には、小学校1・2年生の硬筆、小学校3年生から中学校3年生までの毛筆の作品が並んでいます。中学校2・3年生は、行書です。低学年は、3年生以上の紙の大きさに驚いていました。また、中学生の行書の作品を見て、「書き順が普段と違うみたい。」「筆をどうやって動かすのかな。」と指で空書きを試みている小学生もいました。小中の作品を一緒に展示することが、子供たちの興味を高めているようでした。

作品展は、20日の14時まで開催しております。お時間がありませんでしたらぜひご覧ください。

(高田 公美)



【新年の決意を込めて書きました】